



市議会
議員

加増みつ子
遠山ちえ子
本田かずなり

明るい取手

2026年8月9日号

発行：日本共産党取手市委員会

◆日本共産党取手市委員会の見解を紹介します。

302-0011 茨城県取手市井野 3-19-5

☎ 0297-72-7816 Fax 72-7817

https://jcptoride.com



被爆81周年 広島・長崎を繰り返すな！

日本政府は非核3原則を堅持し、核兵器禁止条約に署名を

原水爆禁止 2026年世界大会



原水爆禁止世界大会が3日、広島市内での国際会議を皮切りに始まりました。

広島・長崎への原爆投下81年、核なき世界を願う運動は、ICANや日本被爆者団体協議会のノーベル平和賞に身を結び、核兵器禁止条約に署名参加する国と地域が全世界（100か国）を超え広がっています。一方で核保有大国は、「核は抑止力」だと核を力の背景にウクライナ

やイランに武力攻撃を続けています。

唯一の被爆国の日本政府もアメリカの「核抑止」政策に同調し、国是である非核3原則をも投げ捨てようとしています。

戦争か平和か、核使用か廃絶か、世界はいま岐路に立っています。

日本共産党

熊本地震

被災者の命脅かす酷暑
被災地と被災者支援が急がれます

7月28日発生の熊本地震が甚大な被害を生んでいます。犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表すとともに被災されたみなさまにお見舞い申し上げます。

日本共産党は中央本部と被災県熊本等に「熊本地震対策本部」を立ち上げ、全国・地方の連携で政府行政などへの要請とともに、被災地と被災者の救命・救助、募金活動に全力を尽くしています。



爆発のあったイオンモール熊本＝7月29日午前8時35分、熊本県嘉島町（共同通信社ヘリから）【しんぶん赤旗日曜版8月2日号より】

被爆2世の母親から

“親なきあとの健康と暮らしが心配！”
“広島・長崎を繰り返さないで！”

切実な声が寄せられました。

被爆2世の医療費を無料に

子どもが被爆2世です。父親は3歳の時に長崎で被爆しました。40歳頃から歯や骨が弱く、定年退職後に被爆者手帳を取得しました。以降、子どもも被爆2世として1年に一回無料健康診断を受けていますが、その内容は簡単なものです。

子どもは病気のデパートと思われるように次々と病気になる、中には特に珍しい病気もありました。

被爆との関係性がある甲

状腺機能低下症もあり、生涯服薬しなければなりません。現在、医療費の助成は一切なく3割負担です。

これでは親なき後医療費負担で生活できない、または医療を受けられなくなるのではと心配です。

医療費の無料化を国に求めるとともに県としての施策を講じていただきたいと思います。

（取手市在住被爆2世の母）

「スパイ防止法」

市民団体が学習会

7月14日、救援会取手支部主催で「スパイ防止法」の学習会が開かれました。

講師は、国民救援会茨城支部の大名章文さん。

自民・維新連立政権が中心となり、今国会で「国家情報局」が設置され、更に次期国会で「スパイ防止法」制定を目指していること。「スパイ防止法」は、現代版「治安維持法」と言われ、政府にたてつく者や異論を唱える人を取り締まり排除する。思想調査や特定の思想の排除が行われ、戦争反対の声を押さえつけるのが大きな目的。自

民・維新はもとより、参政党、国民民主党、日本保守党が公約に掲げ、国際勝共連合（統一協会）が、愛国運動の中心として位置付けている。と法案の危険性を訴えました。

参加者からは「物を言えない社会になるのは恐ろしい」「スパイの嫌疑をかけられないかびくびくしてしまう空気が怖い」との感想。講師から「高市政権がすすめる戦争国家作りの一環である国民監視のこの法案を、広く市民に知らせ、反対の運動を強めていこう」と呼びかけられました。

救援募金へのご協力
よろしくお願いします。

日本共産党

日本共産党取手市委員会は、7月31日夕、取手駅前と藤代駅の2か所で加増みつ子・遠山ちえ子・本田かずなり議員を先頭に募金活動

を開始し、以降各地で継続的に取り組みます。



駅頭での募金活動を終えた本田議員（右から2人め）と一人置いて加増議員＝7月31日、取手駅西口前。遠山議員は藤代駅で

募金は日本共産党の政治活動のための資金と区別し、全額被災者救援、被災自治体のために活用します。下記の日本共産党災害募金係あてに送金ください。

【郵便振替】

口座番号 00170-9-140321

加入者氏名 日本共産党災害募金係

*通信欄に「熊本地震・緊急募金」とご記入ください。

手数料はご負担願います。

駅頭・街頭・地域での呼びかけ時、または党事務所・党議員にお寄せいただいても結構です。

◆連絡先：電話 2097-72-7816

寺田郵便局（新取手）

閉鎖なの？

長い間、寺田地区と呼ばれていた頃から住民に親しまれ、利用されてきた郵便局でしたが、2027年2月27日から、一時閉鎖・移転が決まったとのお知らせがありました。

7月29日加増みつ子議員と寺田郵便局で現状を伺いました。

郵便局長は、「建物の老朽、耐震に問題あり、利用者や職員の安全を図るため、2年後には現在の場所ではないが、新取手に再建する計画になっている」と話してくれました。それなら新たに開設されるまでの2年間、せめて高齢者に年金受給日等に合わせた臨時窓口を開くなどやさしい対応を考えてほしいと願っています。

（新取手 菅原）



移転建て替えが予定される寺田郵便局（新取手）（7月30日撮影）

新規開設までの間も、窓口対応の継続を

市議会議員 加増みつ子

利用者や職員の安全確保への新設・建て替えは歓迎ですが、地域の郵便局は、高齢者や多くの方々に親しまれ、利用されています。寺田郵便局の一時閉鎖で、地域から離れた郵便局の利用となると大変不便になってしまいます。

新規開設までの間、今まで通り利用できる窓口の開設等に対応すべきではないでしょうか。

「再開発と図書館」

シリーズ④

図書館をもてあそばないでください！

遠藤俊夫

（取手駅前開発を考える会代表）

再開発で計画の駅前図書館は「本の貸し借りを主目的とした従来型の図書館」から、「ゆったりとした快適な空間で、好きな飲み物を片手に、本に親しんだり勉強をしたりすることのできる、『滞在型図書館』とし…本に囲まれた新しい『居場所』の創出」を目指すと言います（公共施設整備方針）。

確かに今全国各地で従来の図書館のイメージを覆す試みが進められていますが、その試みは、「地域の知の拠点」として、国

民の生涯にわたる自主的な学習活動を支え、促進する。地域が抱える様々な課題解決の支援や、地域の実情に応じた情報サービスの提供などの社会貢献を果たすために進められています。

市の整備方針にはこのような視点が全く欠けています。ただ、駅前滞留者の増加、賑わいの創出のために図書館の魅力を利用しようとしているのでしょうか。中途半端な図書館づくりはかえって市民にとって迷惑です。

「駅前開発と図書館づくり」学習会のご案内

日時 8月30日（日）午後2時～4時30分

会場 福祉交流センター（取手市役所前）

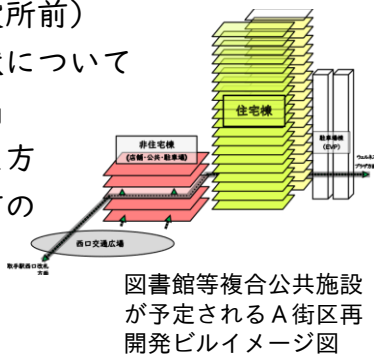
内容 ①報告 ・再開発事業の現状について

・「駅前開発と図書館づくり」に対する「考える会」の考え方
・都市計画事業をすすめる市の対応と問題点

②話し合い

資料代 300円

【主催：取手駅前開発を考える会】



図書館等複合公共施設が予定されるA街区再開発ビルイメージ図

ふえる空き家

求められる有効活用と環境改善

少子高齢化が加速する中、空き家等の増加は深刻です。

所有者のいない管理不全状態の空き家が多くを占め、市民の情報提供による市の空き家の実態調査では、調査件数823件のうち管理不全状態は478件にも及びます。

「草が繁茂し、道路にはみ出し、隣家にかぶさっている」

などの声が次々寄せられても、管理不全の空き家は未解決。市の空き家等対策計画は、空き家の「発生抑制」「利用促進」と明記していますが、空き家になる前、管理不全になる前の相談窓口設置や空き家の活用など、他の自治体も進める空き家バンク等の政策の検討・実施が求められます。

駅前開発偏重の予算改め身近な暮らしと環境に



公道や隣地に樹木がはみ出し、かぶさる管理者不在の空き家。市内各地に増えています。（7月31日撮影）

繁茂する草木が通行を妨げ、地域の環境が悪化しています。都市計画道路等は「年2回業者に依頼」、「生活道路等は要望に応じて」と、市は説明しますが進みません。

市民の身近な環境を守ることは、市の優先すべき仕事です。

駅前などの開発に一極集中でなく、予算と担当職員の人員確保こそ課題です。

安全・快適な街 皆さんと力合わせて

住宅街に増える通り抜け車両 住民の安全を守る対策を



本田かずなり

戸頭地区は、ここ数年でショッピングモールやスーパーが新しくできました。その影響でふれあい道路や新大利根橋につながる県道が今まで以上に渋滞するようになりました。

そのため戸頭の住宅街を抜け道として走行する車が増加しています。



渋滞する戸頭住宅街内、国道294号～ふれあい道路間（8月1日夕撮影）

また利根川河川敷から戸頭地区を抜けてふれあい道路につながる生活道路での車の速度についても、地域住民から「危険だ」という声が上がっています。

私は、通学路になっている道路もあり、散歩する方や高齢者・子どもたちがいる住宅街の交通安全対策を行政に求めています。

市は各担当課や警察と連携を取り戸頭地区の安全対策について検討しています。

皆さんと力を合わせて、安全で快適な地域にするために全力を尽くしていきます。